

人感ライト

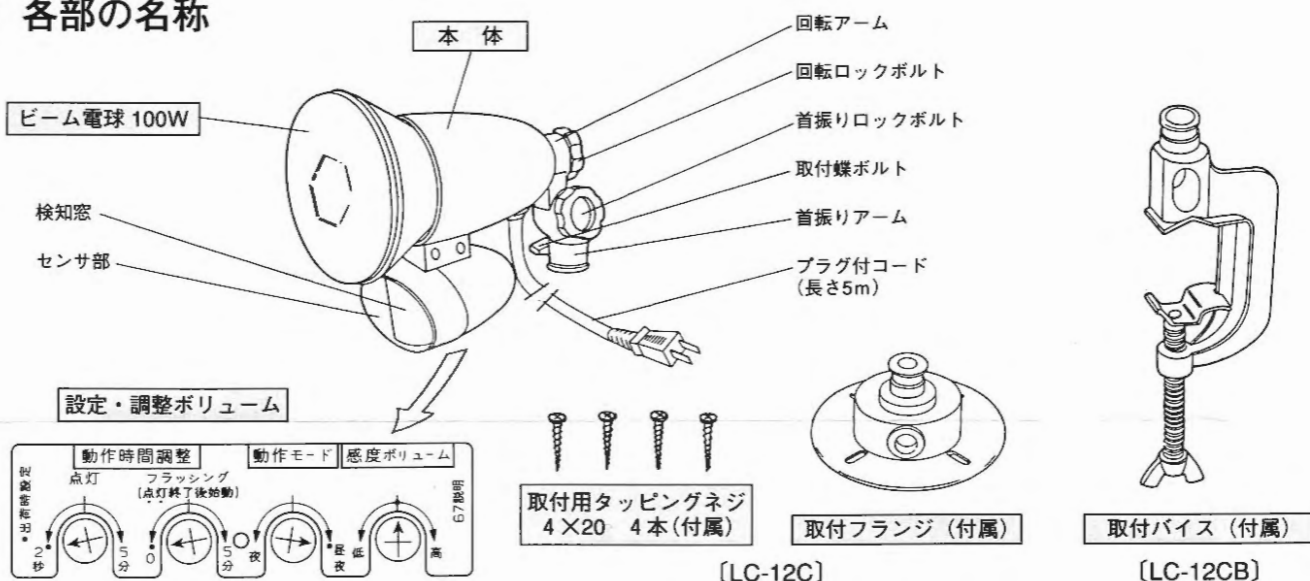
LC-12C (プラグ式配線・フランジ取付) ・ LC-12CB (プラグ式配線・バイス取付)

(EA864CA-18)

このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

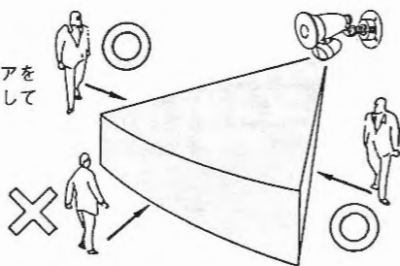
人感ライト LC-12C、LC-12CBは人体から放出される熱線を検知し、ライトを点灯、点滅させる自動照明器です。
省エネ便利灯、侵入者の威嚇等様々な用途にご利用頂けます。
また新開発の自動可変点灯モードにより、ライトを点灯させた後点滅させる複合動作を可能としました。

1 各部の名称

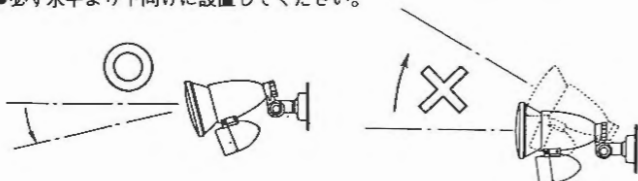


2 設置上の注意

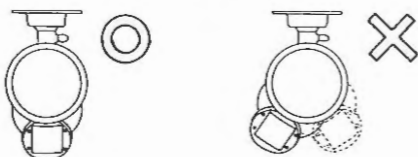
●人体等検知対象物が検知エリアを横切るように取り付け、設定してください。



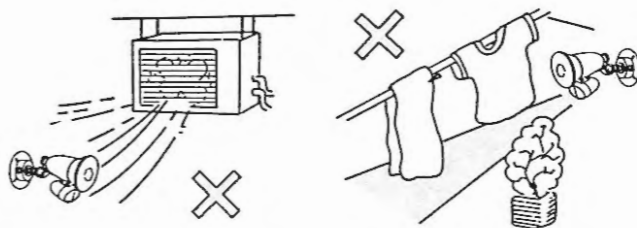
●必ず水平より下向けに設置してください。



●正面から見て検知窓が傾かないように設置してください。

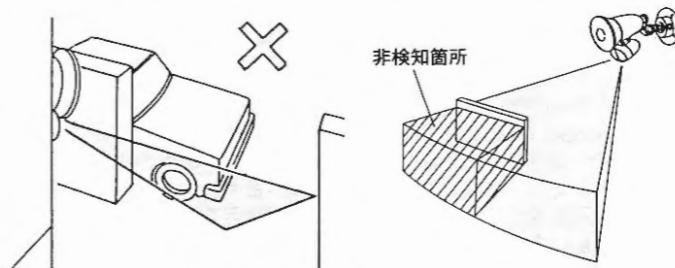


●急激な温度変化のある場所 (冷暖房器具の吹出し口等)、検知エリアに動くものがある場所 (植物、洗濯物等) には取り付けないでください。



●検知エリアが敷地外に出ないように取り付け設定してください。(思わぬ物を検知する場合があります。)

●検知エリア内に遮光物体 (透明ガラス等を含む) があるとその影の部分は非検知箇所となりますのでご注意ください。



●強い振動や電気ノイズの出やすい場所には取り付けないでください。

3 使用上の注意

- 電源投入後約1分間は機器安定の時間を設けてある為動作致しません。
- 本機のライト動作はオフディレイ動作となっている為、検知時間+設定時間の間ライトが動作します。
センサが検知している間(検知時間)は設定時間に関係なくライトが動作し続けます。
- ホース等で直接水をかけないでください。
(防雨構造であり、防水構造ではありません)

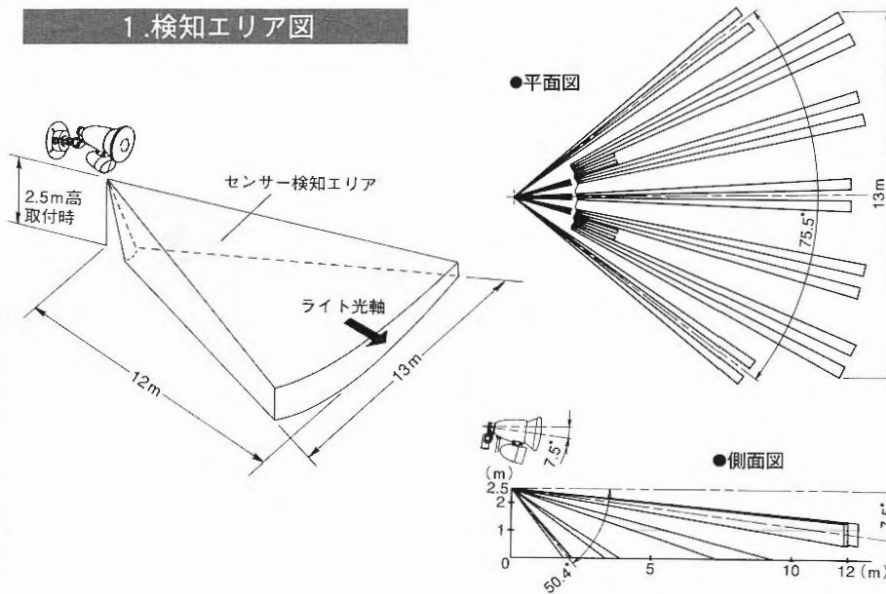
●ビーム電球以外は使用しないでください。



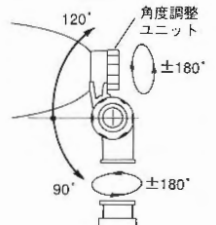
*人感ライトは人体の移動によって生じる〔遠〕赤外線エネルギーの変化をキャッチするよう設計されています。従って、検知エリアの環境が何らかの要因で同様の变化をおこした場合は、人感ライトは判別できずにライトを点灯する場合がありますのでご了承ください。

4 検知エリア

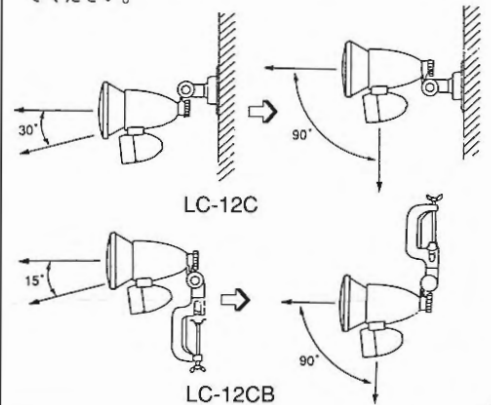
1. 検知エリア図



2. エリア(角度)調整

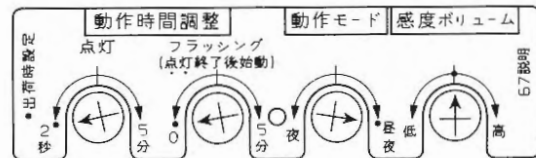


本機は、本体後部にある3ヶ所の回転機構を持つ角度調整ユニットにより、図の様に実用上ほとんどの角度設定が可能ですが、以下の取付姿勢の場合は調整範囲が小さくなりますので必要に応じ右図の取付に変更してください。



5 設定・調整機能

本機は様々な使用状況に対応できるように、ライト及びセンサの動作に関し以下の設定、調整機能を備えています。センサ下面にあるボリュームにて設定、調整が可能です。



動作時間調整

(ライト動作)

人を検知した際のライト・動作時間を調整する機能です。本機には以下の点灯動作・フラッシング(点滅)動作の2種の動作機能があり、個々の時間設定により ①点灯のみ ②点灯後フラッシング(点滅)の2通りの動作選択が可能です。〔自動可変点灯モード〕

点灯

---- 検知後の点灯時間を設定する機能です。約2秒～約5分の間で調整可能です。

フラッシング

---- 検知点灯後の点滅時間を設定する機能です。0～約5分の間で調整可能です。('0'設定時点滅無し)

- 本機のライト動作時間はオフディレイ動作となっております。実際の動作時間は検知時間+上記設定時間となります。
- 動作確認時は点灯2秒、フラッシング0にしてください。
- 自動可変点灯モードでは、検知時間+設定点灯時間の点灯終了後、フラッシング(点滅)が設定時間動作します。
- 〔自動可変点灯モード〕便利灯としてご使用の場合は点滅により消灯の近い事をお知らせします。また防犯灯としてご使用の場合は、点灯→点滅と変化することにより威嚇効果が倍増します。(フラッシング中に再検知した場合は点灯から再スタートします)

動作モード

(ライト動作)

本機は人を検知した際、周囲環境が設定された明るさより暗い場合のみライトが動作します。その周囲照度(明るさ)を設定する機能です。

約10 Lx(夜)～∞(昼夜)の間で調整可能です。

- 昼夜……1日中動作させたい場合、動作チェック時
- 夜……夜間(暗い時)のみ動作させたい場合

*中間の微妙な設定は、周囲が設定したい明るさのときに動作確認を行い調整してください。

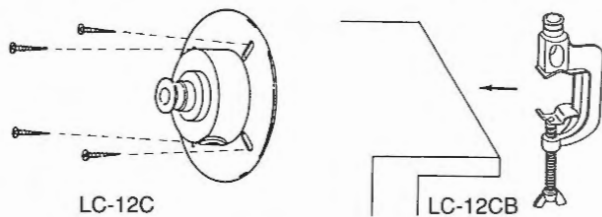
感度ボリューム

(センサ感度)

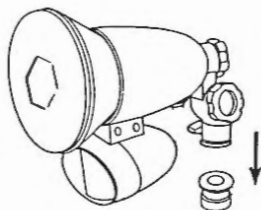
人を検知するセンサの感度を設定する機能です。約20%～180%で調整可能です。(中点時100%)通常は中点で、周囲環境が悪く動作不安定の場合は中点以下に調整してください。

6 取付手順

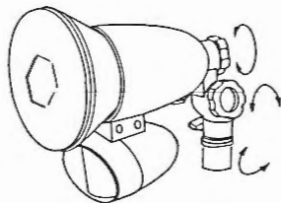
- 取付場所及び取付姿勢を選択します。
(2、4参照)
- LC-12C ……取付フランジを付属ネジ4本にて固定します。
●LC-12CB ……取付バースの蝶ボルトを締め、固定する箇所をはさみ込みしっかりとネジ締め固定します。



- 首振りアームの取付蝶ボルトをゆるめて取付フランジ、取付バースに差し込み仮固定します。



- 回転ロックボルト、首振りロックボルト、取付蝶ボルトを少しゆるめ、検知エリアの方向、角度を決定した後、締め固定します。(4参照)



- 動作チェックモードの設定、確認を行います。(7参照)
- 動作確認を行います。(7参照)

7 動作確認

1 動作チェックモードの設定・確認

- 各ボリュームの位置が下記設定(出荷時設定)にあることを確認します。

動作時間調整	
点灯	----- 2秒
フラッシング	----- 0
動作モード	----- 昼夜
感度ボリューム	----- 中点

2 動作確認(検知エリア、機器動作の確認)

- 取付手順(5)までの終了を確認します。
- 電源を投入し約1分待ちます。
(機器が安定するまで約1分は動作しません)
- 検知エリアを横切るように歩き、ライトの点灯にてエリアの位置、大きさを確認し角度等の調整を行います。
*ライトの光軸はエリア最外郭の中央を指向しています。

3 本設定

- 使用目的に応じて動作時間調整(点灯、フラッシング)、動作モードを設定し、確認を行います。(5参照)

8 点検方法(正常な動作をしない時)

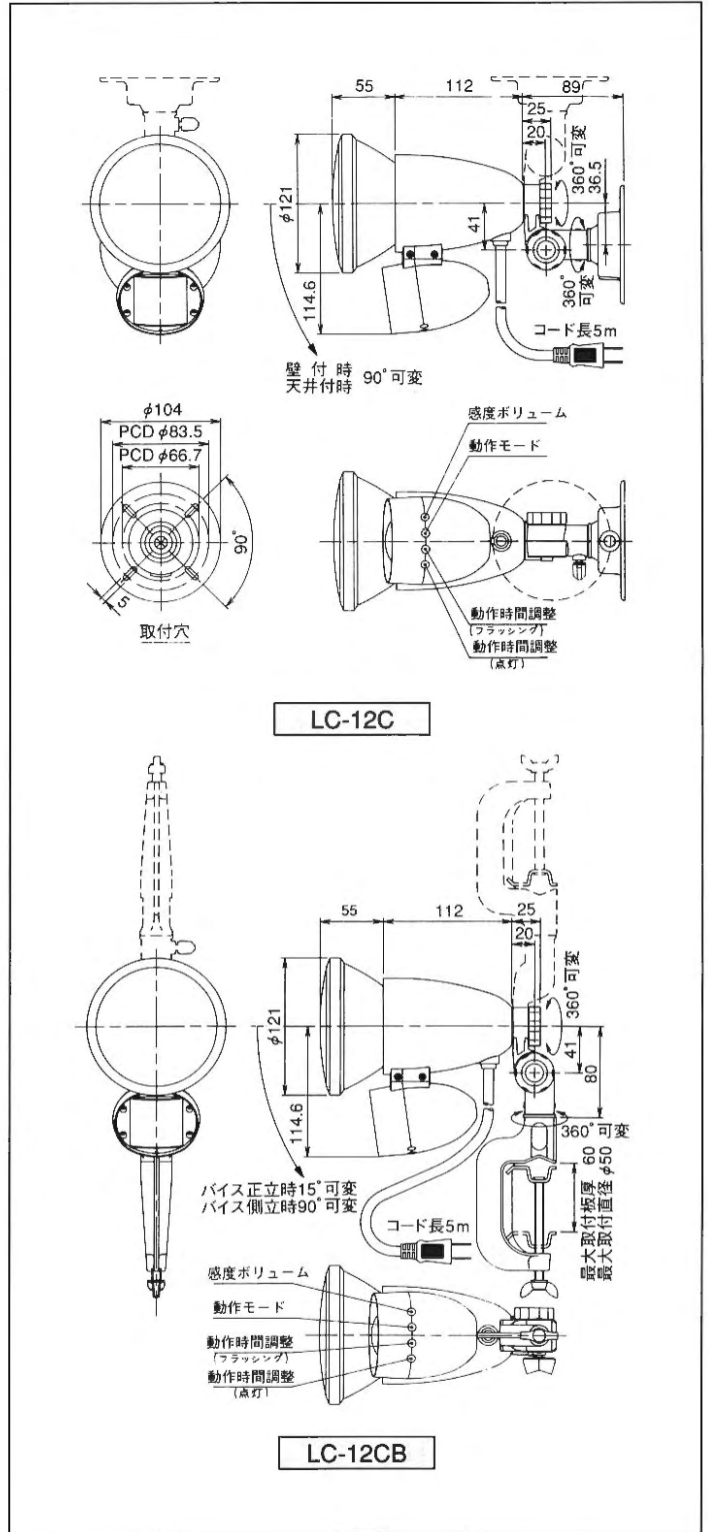
次の図に従って点検してください。点検した結果、なお正常な動作に回復しない場合は、ご購入店または当社までお申し出ください。

異常現象	点検方法	処置
全く動作しない	電源が入っていない(断線も含む)、電源電圧が低すぎませんか	電源線をチェックし電源電圧を適正にする
	電源を入れて約1分間経過しましたか	約1分間待つ
	検知エリア前面に遮光物体がありませんか(ガラスも遮光物体となります)	遮光物体を取り除く
	検知エリアの設定は適切ですか(検知距離を含む)	検知エリアを再調整する(4参照)
時々動作しない	動作モードの設定は適切ですか	動作モードを再調整する(5参照)
	検知エリアの設定は適切ですか(検知距離を含む)	検知エリアを再調整する(4参照)
	検知窓表面がほこりや水滴で汚れていませんか	柔らかい乾いた布でふきとる
人が通らないのに動作する	電源電圧が不安定になっていませんか	電源電圧を適正にする
	検知エリア内で何か動くものがあったり、急激な温度変化が起こっていませんか	原因となるものを取り除く 感度ボリュームを低い方に調整する
	電氣的雑音(放送局、アマチュア無線局等)の発生源が近くにありませんか	取付け場所を変更する
	検知エリア正面から太陽光、ヘッドライト等の直射はありませんか	取付け場所を変更する 検知エリアを再調整する(4参照)
	設定した検知エリアと思われる以外の人や車を検知していませんか	検知エリアを再調整する(4参照)
	犬、猫等の小動物が出入りしていませんか	小動物の出入りを防ぐ

9 仕様

品名	人感ライト	
品番	LC-12C	LC-12CB
検知方式	パッシブ・インフラレッド方式	
検知エリア	立体検知(最長部12m)	
センシティブゾーン	12対	
電源電圧	AC100±10V (50/60Hz)	
消費電力	2W+使用電球	
点灯時間	約2秒~約5分の点灯(連続)後、0~約5分のフラッシング(点滅)	
動作時間	点灯(連続)	約2秒~約5分 (検知時間+約2秒~約5分のオフディレイ動作)
	フラッシング(点滅)	約2秒~約5分 (点灯(連続)後、0秒~約5分のフラッシング[点滅]する)
調整	動作モード	約10 Lx~∞ (照度問わず)《ライトの点灯可能照度》
	感度	約20~180% (中点時100%)
適合電球	ビーム電球: 40~150W (標準装備100W)	
使用可能周囲温度	-20~+50℃ (結露、氷結無きこと)	
設置場所	屋内・屋外 (防雨構造)	
配線方式	プラグ式	
取付方法	フランジ式 (壁面・天井面)	バイス式
質量	1300g (電線含む)	1350g (電線含む)
外觀	ブラック (本体: PC樹脂)	
オプション	引掛シーリング (BC-15)、黒色バイス F3	

10 外形寸法図 (単位: mm)



安全に関するご注意

- 表示された電源電圧以外の電源を使用しないでください。火災・感電の原因となる場合があります。
- この機器の出力接点には表示された容量を超えるような機器を接続しないでください。火災の原因となる場合があります。
- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となる場合があります。

竹中エンジニアリング株式会社
 汎用機器事業部
 事業本部 〒607-8156 京都市山科区東野五条通外環西入83-1
 TEL(075)594-7211(代) FAX(075)501-2085
 札幌・仙台・郡山・さいたま・所沢・千葉・東京・立川・横浜・長野・静岡・名古屋・金沢
 京都・大阪・神戸・広島・高松・福岡・熊本・U.S.・U.K.・AUS.
<http://www.takex-eng.co.jp/>

- 免責事項について■
- 本商品は各種の監視、警戒、報知、起動、威嚇、忌避、制御、護身などに使用するもので盗難防止器、災害防止器、環境破壊防止器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故などによる事故損害については責任を負いかねます。
 - 本商品の取り付け、取り外し時の事故で発生した怪我、損害については弊社は一切責任を負いません。
 - 本商品の取り付け、取り外しによる建物等への損傷についても弊社は一切責任を負いません。
 - 地震、雷および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
 - 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信機会の消失など)に関して、弊社は一切の責任を負いません。
 - 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
 - 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
 - 本商品に関し、いかなる場合も弊社の費用負担は、本商品の価格内とします。